

事業番号	09 04 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	果樹振興対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	H19 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県果樹戦略品種等がけん引役となり、国内外で競争力が高まっている。</li> <li>・ワイン用ぶどうの安定生産と高品質化による所得向上が図られるとともに、ウイルス病に罹患していない台木の供給体制が構築されている。</li> </ul>	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県果樹戦略品種等の技術者向け栽培技術向上研修会の実施</li> <li>・県果樹戦略品種の求評会や青果バイヤーへの訴求活動の実施</li> <li>・ワイン用ぶどう栽培技術講習会の実施やウイルスフリー台木母樹の維持管理</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県果樹戦略品種等の栽培面積拡大・品質向上に向けた戦略づくりが必要。</li> <li>・ワイン用ぶどう生産者の技術力向上を図り、安定生産・品質向上につなげるとともに、ウイルス病に罹患していない台木を安定供給する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県果樹戦略品種等の栽培面積拡大・品質向上に向け、推進する地域、経営体、経営収支等を示した戦略を策定し推進を図る。</li> <li>・ワイン用ぶどう生産者の技術力向上を図るため、栽培技術向上研修会等を開催する。また、新たに台木のウイルス病検査体制を構築し安定供給を図る。</li> </ul>

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①戦略に基づく果樹オリジナル品種等の生産振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓りんご「シナノリップ」の生産振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高密度栽培・新しい化栽培巡回検討会の開催(5回)</li> </ul> </li> <li>✓ぶどう「クイーンルージュ®」等の品質&amp;認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培管理研修会等の開催(15回)</li> <li>・県内外市場でのトップセールスの開催(4回)</li> <li>・高品質果実の生産出荷ガイドの作成(5,000部)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>②ワイン用ぶどうの生産振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓高品質ワイン用ぶどう生産振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイン用ぶどう栽培技術向上研修会(3回)</li> <li>・GI制度習得研修会(1回)</li> <li>・ワイン用ぶどう栽培振り返り検討会(1回)</li> </ul> </li> <li>✓高品質台木の供給に向けたウイルス検査体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイン用ぶどう台木のウイルス検査の実施支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	 「クイーンルージュ®」の栽培管理研修会	 知事会見による「クイーンルージュ®」のPR
	 「クイーンルージュ®」の生産出荷ガイドの作成	 ワイン用ぶどう栽培技術導入検討(自動摘芯機の実演会)	
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	該当なし		

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	果樹戦略品種等の栽培面積(シナノリップ、クイーンルージュ®等)	ha	2,390	↑	2,534	↑	2,691	2,826
2	ワイン用ぶどう品種の栽培面積	ha	344	↑	365	↑	376	370
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越		
当初予算		13,923	2,836	要求 2,807 予算案
補正予算		-12,066		
合計(A)		1,857	2,836	要求 2,807 予算案
うち一般財源		1,816	2,547	要求 1,872 予算案
	決算額(B)	1,063		
	職員数(人)	1.5	1.5	2.5

設定理由	成果指標	<p>1.果樹改植事業等により、生産者の経営改善や所得向上が見込まれる県オリジナル品種等の栽培面積の拡大を成果指標として設定。</p> <p>2.需要拡大が見込まれる高品質なワイン原料用ぶどうの生産拡大を推進するための成果指標として設定。</p>
	目標値	<p>1.第3期県食と農業農村振興計画において、2022年度までに果樹戦略品種等の栽培面積を2,826haにすることを目標として設定</p> <p>2.信州ワインバレー構想グレードアップ版において、2022年度までにワイン用ぶどうの栽培面積を370haにすることを目標として設定</p>

事業番号	09 04 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	果樹振興対策事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	高品質ワイン用ぶどう産地育成支援事業	745 千円	669 千円	要求 予算案 599 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	栽培技術向上研修会等の開催	直接	「信州ワインバレー構想」に基づき、市町村や企業、各産地の生産組織等と連携し栽培技術向上研修会等を実施する。 ・ワイン用ぶどう栽培技術向上研修会(3回) ・GI制度習得研修会(1回) ・ワイン用ぶどう栽培振り返り検討会(1回)	
2	高品質苗木供給に向けたウイルス検査体制の構築	直接	高品質苗木の供給に向けたウイルス病検査体制を構築し、ワイン用ぶどうの品質向上を図る。 ・ワイン用ぶどうウイルス検査の実施支援	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	信州新果実市場評価向上事業	664 千円	1,719 千円	要求 予算案 791 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	県オリジナル品種等の生産振興	直接	県オリジナル品種等の市場評価向上に向けた安定生産及び省力栽培の推進 ・「シナリップ」の高密植・新わい化栽培園地調査(5回) ・「シャインマスカット」県外優良事例調査(1回) ・「南農ナシ6号」、「ネクタリン長果2」等県オリジナル品種園地巡回(8回) ・省力栽培技術の検討(1回)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	「クイーンルージュ®」品質&認知度向上事業	- 千円	- 千円	要求 予算案 1,417 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	栽培管理研修会等の開催	直接	「クイーンルージュ®」の品質安定に向けた栽培管理研修会等を実施するとともに、高品質果実の生産出荷を促進するためのガイドを作成する。 ・栽培管理研修会等の開催(15回) ・生産出荷ガイドの作成(5,000部)	
2	認知度向上PR	直接	県内外の主要市場にてトップセールスを開催し、認知度向上を図る。 ・トップセールスの開催(東京1回、大阪1回、名古屋1回、長野1回)	